

# おしえぐさ

5月23日発行

知名町立知名小学校

## その行為、子どもの育ちにとってプラスになりますか？

こうちよう ながの ひでき  
校長 長野 秀樹

わが子を困らせたくない。困っていれば助ける。これは、親として当然のことだと思えます。

ところで、「これって、子どもの育ちにとってどうなのか？」と気になることがあります。

その一つは、親が子どもの忘れ物を学校に届けることです。

もう一つは、雨風が強かったり、脚をけがして歩行が困難だったりするなど特別な理由がないのに、登校時に車で子どもを送ることです。

これらのことが、子どもの育ちにとって、プラスになっていけばよいのですが・・・

江戸時代の本草学者である貝原益軒の養生訓に「小児（しょうに）をそだつるは、三分（さんぶ）の飢（うえ）と寒（かん）とを存（そん）すべしと、古人（こじん）いへり。いふ意（こころ）は、小児（しょうに）はすこし、うやし（飢）、少（すこし）ひやすべしとなり。小児（しょうに）にかぎらず、大人（おとな）も亦（また）かくの如（ごと）くすべし」とあります。その意味は、「小児を育てるには、30%の飢えと寒さを与えるのがよいと、古人はいう。そのころは、小児はいつも少し飢え、かつ少し寒いほうがよいということである。これは小児だけでなく、大人も同じである。小児に常に旨いものを食べさせ、厚着をさせて温かくしていたのでは、のちに大きな禍（わざわい）を招くことになる」です。つまり、子どもにとって、困難な場面で我慢したり、わがままが通らなかつたりする経験はとても大切だということを示しています。

私たち大人が、子どもの将来を見据え、『かわいい子』だからこそ将来たくましく生きることのできる力を育てることが大事なのではないでしょうか。

忘れ物についていえば、「子どもが困るから・・・」という考えで届けるのではなく、子どもの将来を見据えて、今のうちに、『前日に明日の準備をする』という習慣を身に付けさせることが、大切なことだと考えます。

貝原益軒の示唆に富む言葉を、私も肝に銘じたいと思います。皆様もどうか我が家に置き換えて考えてみてください。

## PTA奉仕作業（5/18）

あいにくの曇り空でしたが子どもたちの学習環境整備のために多くの保護者の方が参加してくださいました。ありがとうございました。



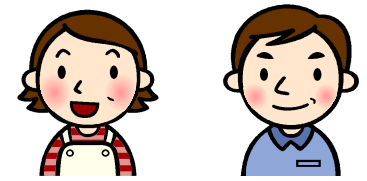
## 令和元年度PTA役員

PTA会員が協力して、「親も子どもも先生も笑顔いっぱい、互いに成長し合うPTA活動を求めて」に取り組んでいきますので、よろしくお願いします。



会長：  
副会長：  
書記：  
監事：  
総務部長：  
研修部長：  
広報部長：  
保健体育部長：  
生活事業部長：

会計：



## 不審者対応避難訓練

訓練には警察の方と子ども110番の家の方が協力してくださいました。「いかのおすし」について、ご家庭でも再確認をお願いします。



日	曜	6月の行事予定
4	火	プール開き 町教育委員会学校訪問
5	水	歯科検診
6	木	児童総会
7	金	歯科指導（5年生）
8	土	土曜参観 引き渡し訓練 学校評議員会
11	火	合同宿泊学習1日目（5年生） むんがたい
12	水	合同宿泊学習2日目（5年生）
13	木	合同宿泊学習3日目（5年生）
14	金	5年生休養措置日
17	月	教育相談週間（～28日）
22	土	知名中校区3校PTAバレー大会
25	火	交流給食（2・4年）

## 6月の目標

- 生活目標** ○ 交通のきまりを守ろう
- 保健目標** ○ 歯を大切にしよう  
○ 梅雨時のけがや病気に気をつけよう

## 今月の島△ニ

- ジンチャ → 知名  
ジッキョ → 瀬利覚  
クヌギ → 黒貴  
フグミ → 小米  
ヨーム → 屋子母